理工学会発行『龍谷理工ジャーナル』「学生の研究活動報告」執筆様式

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 「学生の研究活動報告」の執筆様式に関する研究 |
| 氏名 | 龍谷　ほげお |
| 氏名ローマ字表記 | Hogeo RYUKOKU |
| 学年・所属学科又は専攻名 | 数理情報学専攻修士課程 1年 |
| 1. この様式を改変しないでください

　この文書は，「学生の研究活動報告」（以下「報告」と略記します）の執筆様式の使い方に関する注意点を述べたものです．　龍谷理工ジャーナルの冊子版の判型はB5で，「報告」は2ページと定められています．ウェブ掲載の「報告」も同様の形式です．この執筆様式は，このまま執筆すれば上記の形式に合致した原稿が作れるように，1行の文字数や段ごとの行数が設定されています．それらの具体的な数はページ下部に記載の通りです．「報告」の原稿作成の際は，この様式を改変せずそのまま使ってください．文字サイズ（10.5pt）や行間（1行）等の設定を変更して無理やり2ページに収めることはやめてください．規定の範囲に収まらなかった分は削除されます．この様式を使って2ページに収まらなかった場合は，本文の分量を減らす，一部の図表の掲載をやめる，等の対応をとってください． 2. 注意すべき点2.1 セクションタイトルについて　ウェブに掲載されている過去の「報告」を見ていただくとわかりますが，上記「2. 注意すべき点」や「2.1 セクションタイトルについて」のようなセクションタイトルは，出版時には上下を空けて記されます．執筆時も上記のように空行を入れておく方がよいでしょう．2.2 図表について　図や表についても，出版時には上下にスペースが入ります．以下の例に示すように，空行を入れておくのがよいでしょう．Macintosh HD:Users:takataka:Dropbox:RikouJ2017:whiteuni.jpg Macintosh HD:Users:takataka:Dropbox:RikouJ2017:blackuni.jpg図1 ほげほげ法の実験結果．左は実験前，右は実験後．図表については，明瞭な印刷ができるようなるべく高解像度としてください． 2.3 執筆要領も確認してね　この文書に記されているのは，ほぼこの執筆様式の使い方に関することのみです．原稿執筆にあたっては，「「学生の研究活動報告」執筆要領」もよく確認してください．2.4 ウェブで公開されます　提出された「報告」は，原則としてすべてウェブで公開されます．広く公開されるものであることに留意し，他者の著作物の一部を不当に利用するなど，著作権を侵害する行為を絶対にしないでください． |  |

23字×30行×２段組（写真・図も字数に含む）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

23字×38行×２段組（写真・図も字数に含む）

※様式を改変しないこと。